

議会報 **いわいずみ**

第 53 号

昭和61年 2 月20日発行

発行 岩 泉 町 議 会

編集 岩泉町議会事務局

〒027-05

岩手県下閉伊郡岩泉町岩泉字惣畑59番地 5

TEL (0194) 22-2111 内線251



校庭を利用したリンクでスケートを楽しむ児童たち（有芸）

— も く じ —

- 定例会のあらまし…………… 2
- 決めた議案…………… 3 ～ 4
- 請願・陳情…………… 4

- 一般質問と答弁…………… 5 ～ 11
- 臨時会…………… 12
- 政務調査会の活動…………… 12
- 議会のうごき…………… 12

条例改正など15議案可決

12月定例会

職員の給与改定

平均五・四六%

昭和六十年第四回町議会定例会は、十二月十七日開会し、十九日までの三日間の会期で開かれました。

今回の定例会には、特別職、教育長、一般職の職員の給与等の改定に伴う条例改正、補正予算七件のほか、固定資産評価審査委員会委員の選任同意など十五議案が提出されました。

また、議員提案の意見書一件、決議一件も提出され、それぞれ慎重審議の結果、原案のとおり可決及び同意しました。

また、一般質問は六名の議員から二十三件の質問事項が通告され、町政の各般にわたり町の姿勢を問いたました。

請願・陳情は二件が出され、請願一件が閉会中の継続審査としました。

今定例会は、十二月十七日から三日間の会期で開かれました。

初日に提案された七議案と、

特別職（三役・議員など）、教育

長、一般職の職員の給与等に関

する条例の一部改正、これに伴

う補正予算など、追加議案を含

めた十五議案と議員提出の意見

書一件、決議一件が提案されま

した。

議案審議に先立ち、町長の行

政報告がありました。

盛鉄局に対し

決議書を提出

初日、渡辺助役から行政報告があり、昭和六十一年三月実施予定のダイヤ変更で、岩泉線の列車上下各二本の削減案を示し、さらには、浅内駅の無人化及び一・二番列車について、二両編成を一両編行とする案に対して反対を内容とする決議を盛岡鉄道管理局に提出した▽安家川が「いわての名水二十選」に認定された——との報告がありました。

続いて、一般質問が行われて前もって通告していた六名が質問に立ちました。

国保税など

一般質問

質問に立ったのは、菊地芳四郎議員、熊谷憲慧議員、有原進議員、岩本光雄議員、小松原進議員、畠山一男議員の六名で、それぞれの考えから町政をたどしました。

質問の主なものは、▽国保税について▽都市計画用途地域指定の見直しについて▽下岩泉沢田沢地区の生活道開設について▽いじめの問題等について▽町勢発展計画について▽日本短角種の振興について——など二十三項目です。（質問と答弁の要旨は5ページから11ページです。）

条例・補正予算

特別委で審議

条例改正三件、補正予算八件は、全議員で構成する条例補正予算特別委員会に付託しました。

特別委員会は、委員長に武田忠治委員、副委員長に玉澤文助委員を選出し、十九日に行われ活発な論議が交わされました。

慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決することに決定し、本会議で委員長から報告されました。



ダイヤ削減の改正案が示された国鉄岩泉線

こんなことを 決めました

人事

岩泉町固定資産評価審査委員会委員の選任に関し同意を求めることについて

六十一年一月十八日任期満了となる三浦忠一氏を選任することと同意しました。



三 浦 忠 一 氏
小本字小本36番地
昭和11年7月3日生

条例

特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
特別職の職員の報酬を改正することを決めました。

改正されたもの（ ）改正前

職 名	給 料 報 酬 月 額
町 長	550,000円 (510,000円)
助 役	442,000円 (412,000円)
収 入 役 長	416,000円 (385,000円)
教 育 長	416,000円 (385,000円)
議 長	183,000円 (160,000円)
副 議 長	149,000円 (127,000円)
議 員	136,000円 (116,000円)
幼 稚 園 長	66,000円 (60,000円)
社会教育指導員	87,000円 (80,000円)

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

一般職の職員の給与を国に準じて平均五・四五パーセント引き上げることと決めました。

予算

六十年度一般会計補正予算(第四号)

二千六百八十八万六千円を減額し、総額を五十二億六千二百一十五万五千円にすることを決めました。

六十年度一般会計補正予算(第五号)

一千五百八十八万八千円を追加し、総額を五十二億七千七百二十万三千円にすることを決めました。

六十年度国民健康保険特別会計補正予算(第三号)

診療施設勘定に四百六十六万一千円を追加し、総額を一億五百七十七万四千円にすることを決めました。

六十年度国民健康保険特別会計補正予算(第四号)

事業勘定に百二十万六千円を追加し、総額を十二億七千六百九十万七千円にすることを決めました。

診療施設勘定に八百四万五千円を追加し、総額を一億一千三百八十一万九千円にすることを決めました。

決めました。

六十年度簡易水道特別会計正予算(第一号)

二百四十三万一千円を追加し、総額を一億一千四百三十万六千円にすることを決めました。

六十年度簡易水道特別会計補正予算(第二号)

百十七万九千円を追加し、総額を一億一千五百四十八万五千円にすることを決めました。

六十年度観光事業特別会計補正予算(第二号)

二百六十四万二千円を追加し、総額を三億二千三百二十八万七千円にすることを決めました。

六十年度観光事業特別会計補正予算(第三号)

三十四万五千円を追加し、総額を三億二千三百六十三万二千円にすることを決めました。

事件

財産(建物)の取得に関し議決を求めることについて

東北電力株式会社から職員住宅用として、建物を買入れすることを決めました。

審議日程

12月17日本会議

○会議録署名議員の指名

○会期の決定

○諸般の報告

○町長の行政報告

○一般質問

○報告

○議案審議

○補正予算特別委員会設置、議案付託

○決議案審議

○意見書案、請願陳情常任委員会付託

12月18日休会

12月19日本会議

○議案審議

○条例補正予算特別委員会設置、議案付託

特別委員会

○付託議案審査

本 会 議

○条例補正予算特別委員会審査報告

○議案審議

○意見書案審議

○請願陳情

所在地 岩泉町小本字南中野
三番地七
面積 一七四、四九平方メートル
取得予定価格
八百十三万五千円

町道路線の認定について

卒郡二号線七七メートルを町道路線に認定することを決めました。

陸中衛生処理組合規約を変更することの協議に関し議決を求めることについて

新たに建設するし尿処理施設に係る関係市町村の経費負担の割合を定めることを決めました。

報告

岩泉町山村広場施設工事の請負変更契約締結の専決処分について

当初請負額六千四百万円に百二十万円を増額の専決処分の報告がされました。

普通林道沢倉線開設工事（一工区）の請負変更契約締結の専決処分について

当初請負額三千二百七十万円に九万六千円を増額の専決処分の報告がされました。

意見書

公立学校における事務職員、栄養士の国庫負担制度の存続に関する意見書

提出者 岩本光雄議員

このたび政府は、公立学校における事務職員と栄養士を義務教育費国庫負担制度から除外する方針とのことであります。

公立学校の運営を円滑に行う上で、事務職員の果たす役割は大きく、また児童生徒の心身の発達及び健康の増進を図る上で栄養士はなくてはならない存在であります。

一方、地方財政は年ごとに窮迫の一途をたどっております。よって、公立学校における事務職員、栄養士の国庫負担制度を廃止することなく、現行のとおりに存続させることを強く要望いたします。

以上について内閣総理大臣、大蔵大臣、文部大臣、衆参両議院議長に提出しました。

決議

岩泉線列車ダイヤ改定案に反対し、撤回と善処を求める決議

提出者 早野貫一議員

県民待望の東北新幹線山田開業が実現し、その支線としての山田線、岩泉線の果たす役割も極めて重要となりつつあるとき盛岡鉄道管理局は、来年三月改定予定の国鉄ダイヤで、岩泉線の列車上下各二本の削減案と浅内駅の無人化をしめしてきたところである。これは第二次廃止対象特定地方交通線から除外が決まった岩泉線を、何んら検討の余地も与えず国鉄の一方的な決定で、形骸化しようとするものである。

われわれは、町民生活の足と観光客や通院者等に多大な影響を与えるこの改定案を絶対に容認することはできない。

むしろ、山田線（宮古方面・盛岡方面）との連結利便を考え合わせたダイヤの改善こそが町民の願いである。

よって、ここに、この列車ダイヤ改定案に反対し、撤回と善処を求める。

以上について盛岡鉄道管理局に提出いたしました。

皆さんからの

請願・陳情

十二月定例会までに提出された請願・陳情は二件ありました。

いずれも担当常任委員会に審査を付託され、その決果、一件が継続審査、一件が審議終了となりました。

また、九月定例会において継続審査となっていた請願三件については、二件が採択、一件は引き続き継続審査となりました。

採択された請願

有芸水堀地区内ヘスキー場を設置するための適地調査についての請願

（請願者 下有芸字高清水二十二 体育協会有芸支部長 佐々木宏）

▽内容 有芸水堀地区がスキー場に適しているかどうか専門調査機関の調査を願いたい。

安家村俊作文書を町の有形文化財に指定し耐火金庫を貸与する等保存のため必要な措置を講

じていただくための請願

（請願者 野田村大字野田四十九一三 佐藤健次郎 安家字松林九十一 佐藤省介 岩泉字中野四十二 佐々木京一）

▽内容 安家村俊作文書二百六十三点並びに軸物四十三点を町の有形文化財に指定し、保存のため必要な措置を願いたい。

継続審査となつた請願

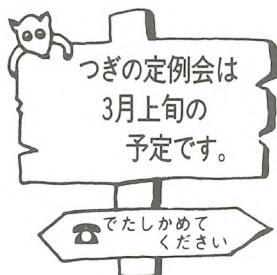
町道開設についての請願

（請願者 岩泉字中家三十三一 一 三本松自治会長 植村穂之松）

引き続き継続審査となつた請願

岩泉町大川駅より釜津田間のバス運行時間帯変更についての請願

（請願者 釜津田字館十四 中田勝志 字中居村三十一 佐々木良八 字八重沢十七 佐々木吉郎 字上種倉六 佐藤甚郎 大川字下外山十七 佐藤崇）



一般質問

「12月定例会の 質問者と内容」



国保税滞納の 対応策は

菊地芳四郎議員

国保税は、町民の健康を保持するための大事な目的税でありますが、次の点について伺いたい。

- (一) 五十九年度決算では七千七百円もの滞納額となり、国保特別会計の危機を招来する心配があるが町としての対応策は。
- (二) 六十年度当初予算で滞納繰越分の五十パーセントを調定に見込んでいるが、その状況はどのようにになっているか。
- (三) 滞納額が大きくなった原因は、納税義務者の担税能力が限界にきているのではないか。
- (四) 六十一年度は諸税の増税が

予想されるが、国保税についてはどうか。

臨戸徴収主体に 解消に努力する

町長 (一) 六十年度の国保税

の予算総額は、三億六千四百九十三万一千円となっている。

滞納額の中には、五十八年度以前よりの滞納繰越分が四千五百五十万円も含まれており、この収入確保は極めて困難な状況にある。

対策としては、当面滞納者個々に対する納税意識の啓蒙と納

●菊地芳四郎議員(5～6ページ)

1. 国保税について
2. 地場産業の育成強化について
3. 椎茸栽培組合に対する補助金の延長要請について

●熊谷熹慧議員(6ページ)

1. 都市計画用途地域指定の見直しについて
2. 町の事業で宅地開発を考えてはどうか
3. 小本川の清流化対策について

●有原進議員(7ページ)

1. 下岩泉沢田の沢地区の生活道開設について
2. 岩泉浅内間鉄道工事に付随した側道、切り替え道等の維持管理について
3. 企業誘致のための用地確保について

●岩本光雄議員(8ページ)

1. いじめ問題等について
2. 木材不況問題等について

●小松原進議員(9～10ページ)

1. 町勢発展計画について
2. 国保問題について
3. 農業振興と農家負債問題について
4. 民有保安林に対する課税問題について
5. 就学前教育について
6. 交通問題について

●畠山一男議員(11ページ)

1. 日本短角種の振興について
2. 椎茸種ごま補助継続について
3. 大川・釜津田間バスの運行について
4. 大川松草線道路の整備促進について
5. 大規模林道外山地区の建設について
6. 下外山の道路建設について

税相談を兼ね、臨戸徴収を主体にして滞納税の解消に懸命の努力をしている。

(二) 滞納繰越分の徴収率は、十一月末現在で一〇・二パーセントと予想以上に低調である。

今年度も残りわずかとなり条件は非常に厳しい状況であるが目標額達成に向けて一層の努力を重ねて参りたい。

(三) 五十七年度分の一人当たりの分配所得は、県下比較で四十九位となっており、一方国保税は被保険者一人当たり五十九位となっている。

(四) 現段階においては、いずれも未確定の要素が多く、適格な見通しは困難な情勢にあるが、財政状況を勘案しながら、慎重に対処して参りたい。

質問

ファクシミリ導入 地元業者から



町の基幹作目にしたい「しいたけ」

町長 機種、業者選定等につ

十分検討する

行政用ファクシミリの導入については、町内業者育成と町の基本方針に基づいて町内業者から購入が決定されると思うが、その後の経過について伺いたい。

いては、地元業者の育成という面を考慮しながら、価格、アフターサービス等を十分検討し決定したい。

質問

しいたけ栽培の 補助期限延長を

しいたけ栽培組合に対する補

助金を、五年間位で打切って新たな組合に補助したい意向のようですが、五年間では中途半端と思われるので、期間の延長を願いたい。

実態により 延長を承認

町長 近年、乾いたけの生産量、需要とも著しい伸びがみられ、五十九年度は五十年度に

比較して、約三倍の二一、七三九キログラムの生産実績となった。

この乾いたけを当町の基幹作物として位置づけるため、五十三年から乾いたけ生産者育成のため補助金の交付を行って

きたところ、現在二十八団体二百十一人の生産者を数えるまでになった。

補助期間の延長については、育成補助という観点から、五年程度を目途にしてきたところであるが、思うように軌道にのれ

どうか。

ない団体には、期間の延長も認めており、今後もそのようにして参りたい。しかしながら、努力のあとがみられない団体については、育成補助という観点から打切する場合もあるのでご理解願いたい。



用途地域指定の 早急な見直しを

熊谷熹慧議員

現行の都市計画用途地域指定は、四十八年に決定されたもので、十二年を経た現在、地域によつては現実的でない面も目につく、例えば町内の川崎地区の工業地域などは、住宅地域など

一路線は現在継続実施中である。指定してから十二年を経過しており、この間の社会経済情勢の変動を勘案しながら、小本地区の用途地域指定をする事と併

当町には、宅地を求めたくてもかなわず、将来の定住地を盛岡近郊や宮古などに求め、いわば人口流出の予備軍の様相さえ感じられる。

町長 町内に宅地を求め難い状況にある当町においては、地域の活性化を図り、地域住民の定住化を促進する観点からも、宅地開発を推進すべきであるという認識で、五十八年以来、アンケート調査を実施するなどして参りました。

近年、小本川の水量が少なく、昔の風情は全くなき、一方降雨時には、一気に流出し災害をもたらしている。そこで小本川の清流化を取りもどす一つの構想として小本川上流地区にダム建設の考えはないか。

小本地区指定と 併せて検討する

町長 都市計画用途地域指定は四十八年七月二十五日決定され、現在に至っている。この間に街路事業は岩泉地区で三路線着手し、すでに二路線が完成し、



完成した都市計画街路事業中家惣畑線

ます。また宅地開発は、住宅建築など関連産業の振興の波及効果も期待されるので、町の事業で宅地開発を考えては

五十九年度には、土橋地区を住宅団地として開発する構想のもとに、県住宅供給公社に依頼して、予備調査を行った結果、土質、取付道路、造成単価等の面で開発は無理であろうとの判断が出され、これを断念した経緯もありました。

町長 ダム建設については、流量調整、魚族保護、観光あるいは産業の振興等の面を考慮し、五十九年に策定した町過疎地域振興計画の中で、長期的展望にたつてダム建設の可能性について検討を進めている。また、現在作業中の新町勢発展計画の中でも、適地あるいは財政的な面等についても長期的に検討を進めて参りたい。

質問

宅地開発を 町の事業で

せて岩泉地区についても見直しを検討して参りたい。

前向きに 取り組む

質問

小本川上流に ダムの建設は



沢田の沢地区の 道路開設計画は

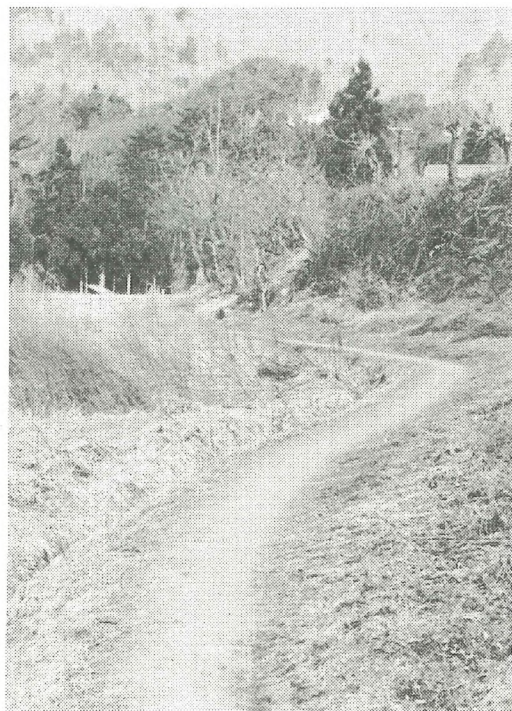
有原 進議員

下岩泉沢田の沢地区六戸は、幅員一メートル足らずの歩道だけで、毎日の生活物資は、背負って運んでいる。道路開設については、昭和四十年頃から請願陳情が何回となく出されている。

しかし、道路用地の確保が難しいという事で解決できないでいるとも伺っているが、幸い、昨年町長自から現地を視察して道路開設のため検討に入っていると伺っているが、今後の具体的な計画について伺いたい。

六十年度中に 設計と積算を

町長 本年十一月にこの路線の測量設計を業者に委託し、現地の調査を実施である。調査内容としては、県道姫松岩泉線の横道の住宅附近から下岩泉の植久雄氏宅までの間を、今年度中に路線の設計と工事費の積算を実施する予定である。今後は、それらの調査に基づ



幅員 1 m の沢田の沢地区の道路

き工事の内容を関係者に説明をし、用地交渉を行い承諾が得られたら、工事を実施する方向で検討して参りたい。

質問

鉄道代替用地 贈与はいつか

昭和四十一年～四十二年当時、浅内・岩泉間の鉄道用地買収に関連して、用地内にある農道及び生活道等多くの道路が鉄道用地となりました。この代替えとして鉄道建設公団は地権者、受益者と協議し、側道、切替え道路等をつくり公団がこれを買収しました。そして、この側道、切替え道路を公団が町に贈与した訳ですが、その贈与されたのはいつか。また、財産台帳に記載されたのはいつか示されたい。

四十九年十二月 町に贈与された

町長 日本鉄道建設公団から四十九年十二月に町に贈与され、五十年七月に所有権移転登記済で、町の財産台帳に登録されている。この内訳は、公衆用道路六十五筆、用排水路十四筆であり、今後は適切な管理に努めて参りたい。

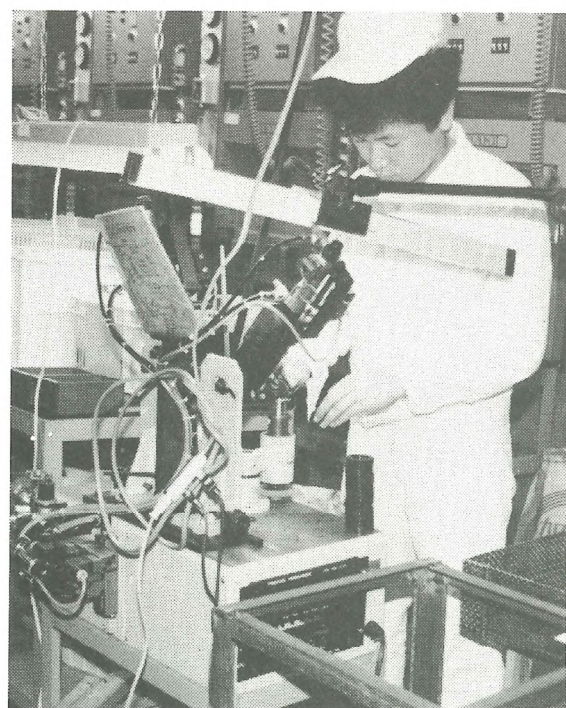
質問

企業誘致の 用地確保を

当町の産業形態は農林水産業が主体であり、特に若年層の希望する就業の場がなく、企業誘致による職場の拡大こそ緊急課題である。

企業誘致運動は、他市町村の例を見聞するに成果が上がるまでに十年かかると言われている。

最近、当町での成功例では、岩手アライ(株)の誘致がありました。これはあらかじめ用地が取得されてあったからの結果であるので、今後においての用地確保と造成計画について示されたい。



岩手アライ(株)の仕事風景

地縁、血縁、口こみ 最大限に活用する

町長 今春は岩手アライ(株)の誘致によって、ひとつの尊い経験を得た感もあります。

企業誘致の受皿づくりとしては、用地用水の確保、人材養成が大切であり、手段、方法としては、県担当課、東京事務所などと緊密な連絡のもとに、在京岩泉人会の組織化による接触を深めながら、血縁、地縁、口こみなどを最大限に活用すべきであると考えます。

当面、企業誘致の基盤となる用地確保のための適地調査を行い、積極的に用地取得とその態勢づくりを推進して参りたい。

表1. いじめの件数

(60年4月～10月)

	学 校 数	件 数	消 した もの 左 の う ち 解 決	事 例				
				ひ や か し	仲 間 は ず れ	暴 力	言 葉 で の お ど し	持 物 か く し
小学校	1	8	2	1	4	3	—	—
中学校	4	30	26	24	7	2	6	3
計	5	38	28	25	11	5	6	3

教育長 文部省による児童生徒の「いじめ」の問題に関する調査を、当町においても六十年

五つの学校で 三十八件も

自殺や殺人事件まで引き起して社会問題になっている「いじめ」について、当町の実態と対応について伺いたい。



いじめの 実態は

岩本光雄 議員

四月から十月までの七ヶ月間を全小中学校を対象に実施した。その結果は表1のとおりであるが、実態はもっと多いのではなからうかと思っています。

- これにとつた対策は、
- 人間尊重についての指導
- 個別指導と家庭訪問
- 道徳教育の強化

○教師と生徒のふれあい、生徒間の温かい人間関係の確立

次に、学校から報告を受けた校内暴力は、対教師暴力一件と施設破壊一件であります。これに講じた対策は、
○校長の指導の強化
○PTAの協力体制の強化（父母の学校参観）
○学校と家庭の連携緊密化
○警察、家庭裁判所との連絡強化

表2. 岩泉警察署の補導状況

(60年4月～11月)

	窃 盗	不 良 文 遊	怠 学	金 品 持 出 し	暴 走	飲 酒	喫 煙	計
小 学 校	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (6)
中 学 校	11 (5)	2 (0)	5 (1)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (4)	23 (10)
高等学校	2 (1)	1 (9)	0 (5)	0 (0)	5 (0)	4 (2)	2 (2)	14 (19)
計	15 (7)	3 (9)	5 (6)	1 (5)	7 (0)	4 (2)	4 (6)	39 (35)

() 前年

これにより現在は、以前に見られた授業の妨害や抜け出し等もなくなり、平静を取り戻している。
それから、非行の実態は表2のとおりであります。これは岩泉警察署管内（岩泉町・田野畑村）の件数である。

質 問 の 木 材 不 況 の 対 策 は

制 度 事 業 の 導 入 を 図 る

当町には、十前後の製材業者があるが、木材不況により非常に先行きが不安な状況になっている。また、これに携わって働いている人も多く、町民に与える影響も非常に大きい。これらの現状、見通し、対策等について伺いたい。

町長 国内の木材需要の減退に伴う価格の低迷、経費の増加等から林業が停滞するとともに、木材産業が深刻な不況にあるという極めて厳しい状態にある。このような状態が続くと、国産材時代の実現が難しくなってくる。
今後においても、林道、作業道の開設など制度の活用を図りながら関係事業の導入を行って参りたい。



不況にたたされている木材



大川、安家、有芸地区 の振興策を示せ

小松原 進 議員

当町の最重要課題は、過疎化に歯止めをかけて町の活性化を図る事にあるが、過疎対策事業は目標近く進んでも過疎は依然として進んでいる。特に大川、安家、有芸地区では、人口の激減により部落あるいは集落としての機能すら保てない状態になっており、これでは明るく住みよい町づくりはスローガンだけに終わってしまうので、新町勢発展計画における、この地区の具体的な振興策を示されたい。

複合経営確立で 所得向上を図る

町長 新町勢発展計画の策定にあたっては、旧町村単位に町職員による「地区担当プロジェクト・チーム」等も編成し、それぞれ地域の実態に即した産業おこしや地域づくりなどについて色々と検討してきたところであります。

地区別の振興策については、

- (一) 国民健康保険に関する次の点について伺いたい。
- (二) 退職者医療制度の創設によ

国庫負担削減の 影響はいくらか

質問

共通課題としては、何と云っても道路交通網の整備が重要かつ緊急な課題と考えます。また、産業振興については、肉牛や酪農を基幹とし、これに野菜、しいたけ、わさび、ブルーベリー等の栽培による複合経営の確立によって、農家所得の向上を図る必要がある。

また、活力ある地域づくりは、地域住民自らの熱意と相互協力によって実現するものと確信しているし、各々の地域においても複合型経営により、かなりの実績を上げている方もおられるので、このような方々の堀り起こしと組織づくりによって地域の特性を生かした産業の振興を積極的

答弁

約七千万円で 補填は年度末

町長 (一) 六十年度予算ペー

スの試算で七千万円余りと見込まれる。その補填措置については、年度末には具体的な配分がなされる予定である。

(二) 低所得者世帯に係る国保税については、町税条例の規定により被保険者均等割額並びに世帯別平等割額について、六割ないし四割の減額を行っている。

質問

ご質問の減免については、国保税の応益性、所得金額等による画一的減免の違法性、さらに他の納税義務者への影響、財源の補填対策など種



個人負担が多くなっている医療制度

負債農家数は どれくらいか

質問

農家負債対策として農家経済更正資金制度活用のため、固定化負債農家の実態調査が始ま

々の問題があるので、従来どおり現行条例の規定により個々の実態に応じて適切に対処して参りたい。

(三) 制度創設の趣旨にのっとり、適正な運用を図って参りたい。

(四) 当町においては、国保財政危機突破宮古下閉伊地区大会、岩手県大会、東北大会、全国大会等に積極的に参画し、国庫負担の削減をしないよう強く国に働きかけて参りました。

今後においても、情勢の推移を見守りながら対処して参りたい。

れ、負債農家の選別が行われているが、次の点について伺いたい。

(一) 当町の農家の実態はどうか。

A・B・C・Dランク別に示されたい。

貸付対象農家は 二十四戸となる

町長 県内の農家負債額は約

五百億円と言われており、そのうち畜産に係わるものが二百億円であり、この対策として五十九年度から発足したのが、農家経済更正資金対策である。

県内融資総枠は百二十億円と見込まれており、貸付基準は、固定化負債額三百万円以上の農家を対象としている。

(一) 対象農家は二十四戸となっている。Aランクは自己努力並びに経営改善によって更正できる農家であり貸付対象としていない。貸付対象のBランクは八戸、Cランクは十六戸となっている。Dランクは五戸であり、経営意欲がないこと、改善計画達成が困難であることなど、経

営持続ができない農家で負債整理対象農家として検討されるものと思われる。

当町の融資枠は、一億百万円であり、五十九年度に四千八百万円を四戸に、六十年年度に八千四百万円を七戸に貸付決定されている。六十一年度は三千三百万円の枠になっている。

(二) 貸付期間は三年となっているが、五年間は強力な指導を行い、五年を目途に立ち直らせる考えで進めている。この中で、すでに一、二農家はBランクからAランクに上がっていく農家もあります。

質問

民有保安林の課税の問題は

自治省は来年度予算編成に向けて、財源確保のひとつとして、これまで公共目的を理由に固定資産税が非課税となっていた民有保安林に新たに現行の二分の一の税金をかける方針を固め、林野庁と折衝に入っていると報じられているが、町の見解を伺いたい。

自治省が取下げた

町長 この問題は、保安林制

度の根幹に係るものであり、保安林整備の推進に重大な支障を及ぼすものと考えられますので、反対の意を持っていたが、十二月十六日夜になりまして自治省がこれを取り下げたというニュースが入っており、一安心しております。

質問

遠距離通園に補助の考えは

当町における保育所の定員割れが問題となっており、特に岩泉地区の場合は、保育所ばなれが進んでいる。一方当町の保育所、幼稚園における就学前教育の実態は、他市町村に比較して大きく遅れている。遠距離に点在する幼児のために、通園に対する補助などを検討する考えはないか。また、保護者が安心して働けるように時間外保育などの考えはないか伺いたい。

現在のところ考えていない

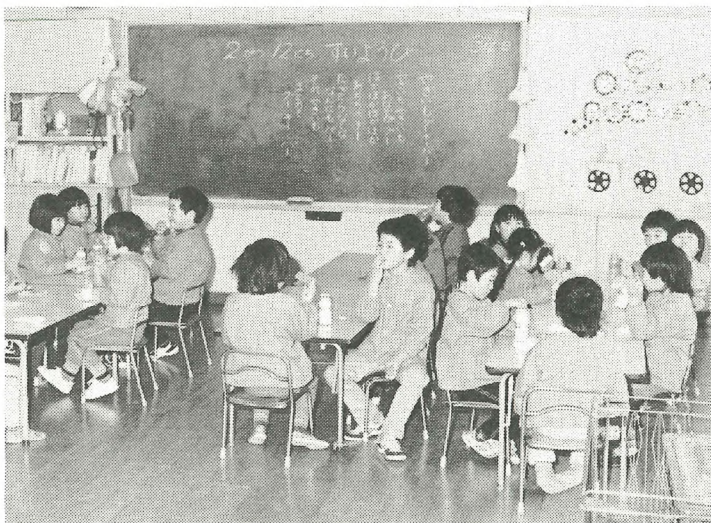
町長 保護者の意向調査を実施しながら、保育時間の延長や定員の見直しなどを検討し、適正な保育所運営に努めて参りたい。

通園補助については、この対

応は非常に難しい問題であり現在のところ考えていない。

教育長

就学前教育は家庭がその基本的役割を果たすとともに、社会的訓練等のしつけは、集団教育の場である幼稚園、保育園においてその効果が期待される場所である。これが効果的になされるよう、幼稚園の充実と幼児教室、幼児を持つ親のための家庭教育学級、明日の親のための学級等、子供を持つ親に対する子供理解の内容を中心として、両親教育に努力しているところである。



定員割れになっている保育所

質問

国鉄バス三沢線 その後の状況は

休止となっている国鉄バス三沢線の交通確保は、その後どのようになっているか伺いたい。

民間に委託の 方向で同意を

町長 現在、町において週一回二往復の貸切タクシーを運行している。

先般、東北自動車部輸送課から来庁して、今まで反対してい

た田野畑村が、

一転して廃止に向けて動き出したので、岩泉町においても同意されたい旨の申し入れがあった。

その背景としては、田野畑村で一ノ渡・岩泉

営業所間を田野畑交通に委託して運行する計画があるやに聞いている。

この対応については、議会あるいは住民への

報告等もあるとして保留しているが、全員協議会において、ご説明の上、ご理解のもとに同意に向け、田野畑村との話し合いに入って参りたい。

質問

国鉄岩泉線の 今後の見通し

岩泉線の存続は、国鉄の分割民営化では、見通しはたまたないと考えるが見解を伺いたい。

地域に奉仕する 交通経営を望む

町長 国鉄改革は、地域住民の生活や地域経済に大きな影響を与える極めて重要な問題であることにかんがみ、政府における検討に当たっては、国鉄が果たしている公共輸送機関としての役割と地域の実情を十分認識の上、慎重に対処する必要があるものと考えている。

改革の方向としては、地域に奉仕する交通経営を目指すべきことが肝要であり、経営効率性の追求のみに終始することは望ましいものではないと考えている。



一部受益者負担 全額町負担に

畠山一男議員

日本短角種の振興について、次の点について伺いたい。

(一) 北上山系総合開発及び今後の大規模草地開発に一部受益者負担を全額町負担にする考えはないか。

(二) 北上山系開発終了後、引き続き大規模草地造成開発の考えはないか。

(三) 兜森地内に早期に草地造成の考えはないか。

(四) 有芸水堀開発地区に子無牧場及び玉ぬき牧場を実験牧場として設置する考えはないか。

(五) 簡易牛舎建設の補助金を五ヶ年継続する考えはないか。

(六) 統合市場の早期実現と見通しについて

財政面から 困難である

町長 (一) 他の事業との関連もあり、また、財政の厳しい時でもあり、全額町負担は困難な状況にある。

(二) すでに北上山系開発事業で国有林を三六〇ヘクタール貸付されており、田代大川地域を合わせ八六〇ヘクタールの草地が完了しつつあります。これらの開発事業は現状の頭数に見合う開発であり、今後増額が進展することとなれば検討して参りたい。

(三) 六十一年度完成するよう公団に要望する考えでいる。

(四) 水堀団地は町有地約五〇ヘクタールを放牧地として六十二年度に草地造成計画している。

完了後は、肥育素牛または二季放牧用に供用する考えでいる。

(五) 六十年年度から「新しい農業確立総合対策事業」のなかに組み入れられており、補助継続は可能と考えている。ただこの事業の基準面積に問題もあり、今後県に対し要望して参りたい。

(六) 六十二年度開設を目指して取り組んで参りたい。

質問

しいたけ生産者に
引き続き補助を

しいたけの種ごまの補助が五年で打ち切れようとしているが、今後定着する生産者に指導援助をし、引き続き補助の継続をする考えはないか伺いたい。

先の答弁で
ご理解を

町長 菊地議員の質問と主旨と思うので、先にお答えしたことで、ご理解を願いたい。

質問

バス運行の
時間変更を

大川駅より釜津田間を現在バスが朝夕二往復運行されているが、住民の要望に合った運行とは言い難い。現在どのような検討がなされているか伺いたい。

ダイヤ変更の
状況みながら

町長 現在、国鉄岩泉線ダイヤ変更が大きな問題となっており、これら時間帯の落ちつきを見てから、業者との折衝に入りたい。

質問

大川松草線
整備促進を

県道大川松草線は、整備が遅れており、児童生徒の通学等に著しく危険な状況にあるが、この道路整備促進についてどのような考えか伺いたい。

拡幅改良など
工事を実施中

町長 この路線は現在、県の土木事務所で整備中である。六十年年度は、十ヶ所において拡幅改良、舗装及び落石の防止等の工事を実施している。

今後は、さらにこの路線の整備促進について県に対し要望して参りたい。

質問

外山地区の
道路建設は

大規模林道外山地区の道路建設の見通しについて伺いたい。

当面路面補修等
定期的に実施を

町長 大規模林道の当町分の計画は、二六・六キロメートルの延長のうち、現在までの工事

進捗率は四〇パーセントと計画から大幅に遅れている。

現在、田山・種倉の間の工事がなされており、この区間は、トンネルを含めて五、六年の工事期間を要するものと思われる。

外山地区の道路建設については、田山・種倉間の整備終了後になるものと思われる。また、現道舗装も当面計画がないところから、今後、町において定期的な路面補修等を実施して参りたい。

質問

下外山地区の
道路建設は

外山地区の下流に葉たばこ、短角牛の生産農家四戸がある。この地域は、仮道路で葉たばこの出荷、肉牛の出荷等で大変困却しているが、道路建設の見通しについて伺いたい。

国庫補助対象に
今後検討をする

町長 下外山の対岸の集落について、生活道並びに営農に不便をしていることは、充分承知し開発計画に組み入れているが、農地面積が五ヘクタール未満と少ないなどの点もあるので、今後検討して参りたい。

議会の うごき

11月～1月

11・1	岩泉町老人クラブ連合会懇親会	議長（町内）
22	第16回岩泉町民文化展開会式典	議長（町内）
	浄法寺町議会来町	議長（町内）
28	県選出国會議員及び建設省に対する 合同陳情	議長（東京都）
	第10回豪雪地帯町村議会議長全国大 会	議長（東京都）
	東部町村議会議長会臨時総会	議長（東京都）
29	第29回町村議会議長全国大会	議長（東京都）
	岩泉町交通安全町民大会	副議長（町内）
29	東部町村議会議長会優良先進地議会視察	議長（四国）
12・1	商工会法施行並びに岩泉商工会創立 25周年記念商工業優良従業員表彰式	副議長（町内）
6	第3回政務調査会合同会議	議長（花巻市）
7	金沢勘兵衛県議會議員藍綬褒章受賞 祝賀会	全議員（町内）
12	森林組合「山神祭」	議長（町内）
14	議会運営委員会	
17	第4回定例会	
19		
18	県・国鉄に対する陳情	議長、副議長、総 文、民生、産建委 員長（盛岡市）
28	岩泉商工会年末懇親会	議長（町内）
1・3	消防団第1～5分団・岩泉消防署連 合出初式	議長（町内）
5	消防団第6分団出初式	議長（浅内）
7	消防団第8分団出初式	議長（安家）
11	岩泉商工会青年部新年会	議長（町内）
15	第38回岩泉町成人式	議長（町内）
23	岩泉線現行運行本数確保等に関する 陳情	議長（東京都）
25	小沢一郎先生の自治大臣就任を祝う 会	議長（盛岡市）
28		
町村議会議新議員研修会	昌山議員（盛岡市）	
29		
28	盛岡鉄道管理局に対する陳情	議長外9名（盛岡 市）
30	第1回臨時会	

第一回臨時議会

第一回臨時議会は一月三十日
開かれ、報告三件、財産取得一
件、請負変更契約一件を原案ど
おり可決しました。

審議された議案

小本漁港海岸保全（水門）工
事の請負変更契約締結の専決処
分について（報告）
当初請負額四千六百五十万円

林構林道乙茂日蔭線開設工事
の請負変更契約締結の専決処分
について（報告）
当初請負額五千六百二十万円

に百七十万円を増額したことが
報告されました。

小本漁港海岸保全（水門）二
号工事の請負変更契約締結の専
決処分について（報告）
当初請負額六千二百万円に三
百四十万円を増額したことが報
告されました。

に五百万五千円を増額したこと
が報告されました。

財産（動産）の取得に関し議
決を求めることについて

窓口業務を改善し、住民サー
ビスの向上を図るためファクシ
ミリを買入れることを決めまし
た。

種別 行政用ファクシミリ
数量 証明用送信機 二台
証明用受信機 五台
申請用（送受信兼用）
七台

議長あてに案内状などを出す
場合は、議会事務局へ送付くだ
さるようお願いいたします。（岩泉字
惣畑59番地5）

価格 一千五百万円

町道室場線道路改良工事の請
負変更契約の締結に関し議決を
求めることについて

当初請負額四千九百九十万円
に七百四十五万二千円を増額す
ることを決めました。

おねがい

政務調査会

の活動から

町議会は、十二月十九日町に
対して、六十一年度の施策につ
いて十一項目を要請しました。

これは、議員全員で構成して
いる政務調査会が町政の振興発
展について、総務・民生・産業
部会で調査検討してきたところ
ですが、その結果を六十一年度
の町の施策に対する要請事項と
して取りまとめたものです。

①総合的交通体系確立のための
機関設置

②教育振興運動の充実

③特別養護老人ホームの運営委
員会設置

④特別養護老人ホームのデーサ
ービス及び短期委託実施

⑤済生会病院の総合病院として
の施設・設備の充実

⑥企業誘致のための用地取得と
造成の促進

⑦椎茸生産者に対する植菌補助
金の継続

⑧町主導のミルクプラントの設
置促進

⑨龍泉洞運営の民間委託化（可
能なもの）

⑩多目的ダム建設の検討
⑪ミニ空港立地の調査検討